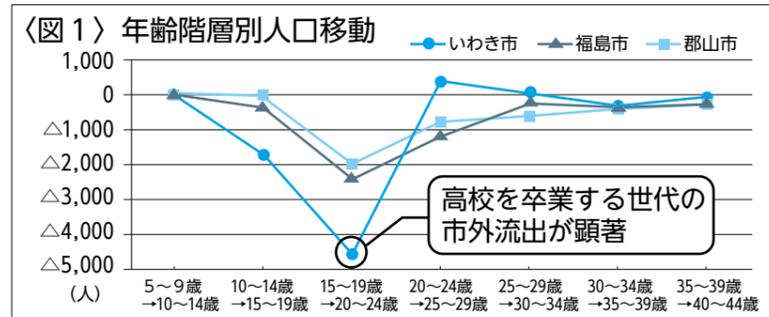


次代を担う人財育成プログラム

「いわきアカデミア」を実施

本市の活力維持のため
人財の確保が必要

人口減少・少子高齢化が進む中、将来にわたり本市の活力を維持していくため



には、次代を担う人財を確保する取り組みを進めていくことが必要です。

本市では、同規模の人口を抱える福島市・郡山市と比較して、若い世代が市外に流出する傾向が強くなっています（図1）。

高校卒業後もいわきで働きたいという若者を増やし、進学などで市外に流出した

若者に、将来いわきに戻り働きたいと考えてもらうためには、子どものうちから郷土愛を育み、地域社会や市内の企業などをより知ってもらうことが大切です。

地域全体で次代を担う人財を育成

市では、次代を担う人財の育成や、教育を軸とした

いわきアカデミアの基本理念

- ・いわきで暮らす、働く、次代の地域を担う人財を育てる
- ・いわきを離れても、いわきでつながり続ける人財を育てる
- ・子どもたちの郷土愛を育て、人財の全体的な底上げを図る
- ・社会で必要な考える力やコミュニケーション力を育てる

人財還流の仕組みづくりを行うため、基本理念に基づき、一貫した人財育成プログラム「いわきアカデミア」を実施しています。

この取り組みを地域全体で進めていくため、行政をはじめ産業界、NPOなどの市内各界各層の団体で構成する「いわきアカデミア推進協議会」を設立しました。

同協議会では、各団体の強みを生かしながら、プログラムの内容を検討し、子どもたちを育成する仕組みづくりを行っています。

地域を知る・考える取り組みを実施

小・中学生のうちから郷土愛を育むため、地域の歴史・文化・産業などを知ってもらう取り組みを実施します。

人生を選択する段階にある高校生には、郷土愛を高める



地域の歴史などを学ぶ機会をつくり郷土愛を育成

めるとともに、地元への定着を促進し、さらに地元での起業・創業につなげることを目的とした、キャリア教育を行います。

大学生には、市内の企業をより知ってもらい、就職先として選択してもらえるような取り組みを実施します。

こうして、自分の住む地域や自分の生き方を考える機会をつくることで、地域を支える人財の育成を図っていきます。

○お問い合わせ
創生推進課
公民連携グループ
☎ 22・7025

○取り組みの内容

小・中学生向け

会社見学ガイドブック

本市のものづくり産業の歴史や特徴などと、地域や日本、世界で活躍する市内の主な企業を案内するガイドブックを作成しています。



市内の企業に理解を深めることができるよう分かりやすく紹介

いわき発見ゼミ

企業などを訪問し、本市で活躍する方の職業観や人生観に触れ、自分の進路や生き方を考える機会をつくります。



経営者の話を聞くなど企業の現場を体感

ジョブシャドウ

(公社)ジュニアアチーブメント日本が提供するプログラムを活用し、企業の社員に密着して、仕事の緊張感や熱気、厳しさを体験します。



高校生PBL授業

地域の課題解決に向けたプロジェクト(PBL)を、自分たちで企画・実施します。



大学生地域実践ゼミ

市内の大学生が、地域課題をテーマとして取り上げ、社会との関わりを深めながら、地域の皆さんと一緒に、解決策を検討します。



地域課題などのヒアリング調査を実施

実践型インターンシップ

全国の大学生が、本市で約1カ月間のインターンシップを行い、企業のプロジェクトに参加して、テーマに基づいた商品開発やマーケティングなどを行います。



市内の施設でマーケティングなどを実践

市では、人財の育成に加え、若者の定住促進に向けた取り組みも行っていきます。

本市に定住・就業する予定の大学生などを対象に、奨学金の返還を支援する「未来につなぐ人財応援奨学金返還支援事業」を実施し、若者のU・I・Jターンの促進を図っています。